

2021年6月期
第3四半期決算説明資料

2021年5月14日



株式会社マーケットエンタープライズ



証券コード：3135

Agenda

- ① エグゼクティブサマリー
- ② 2021年6月期第3四半期連結決算概況
- ③ 2021年6月期の投資について
- ④ セグメント別概況
- ⑤ 2021年6月期業績予想について

Agenda

- ① エグゼクティブサマリー
- ② 2021年6月期第3四半期連結決算概況
- ③ 2021年6月期の投資について
- ④ セグメント別概況
- ⑤ 2021年6月期業績予想について

エグゼクティブサマリー

全体感：不透明な外部環境のなか今期を来期以降の投資期に切り替え
人的投資及びシステム投資を加速させた結果営業減益となった

※投資の内容については後述

各事業の概況は下記の通り

ネット型リユース	個人向けリユースは堅調 人的・システム投資を加速
メディア	グループ外売上は堅調 将来の成長に向けた人員強化に注力
モバイル通信	前年4Qの特需の反動減の影響が継続 市場は競争激化が進行
全社費用	ベトナムオフショア開発拠点の人的投資を加速

業績予想：業績予想を修正

Agenda

- ① エグゼクティブサマリー
- ② 2021年6月期第3四半期連結決算概況
- ③ 2021年6月期の投資について
- ④ セグメント別概況
- ⑤ 2021年6月期業績予想について

連結損益計算書（第3四半期累計）

増収営業減益

(単位：百万円)	2020年6月期 第3四半期累計	2021年6月期 第3四半期累計	前期比	
			増減額	増減率
売上高	7,885	8,119	+233	+3.0%
売上総利益	3,019	2,922	▲96	▲3.2%
販売費および一般管理費	2,576	2,824	+247	+9.6%
販管费率	32.7%	34.8%	—	+2.1pt
営業利益	443	98	▲344	▲77.7%
営業利益率	5.6%	1.2%	—	▲4.4pt

連結損益計算書（2021年6月期四半期別）

第3四半期は営業赤字

(単位：百万円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	2,870	2,758	2,491
売上総利益	1,103	955	864
販売費および一般管理費	939	912	972
販管费率	32.7%	33.1%	39.0%
営業利益	163	42	▲107
営業利益率	5.7%	1.5%	-4.3%

セグメント別業績概況（第3四半期累計）

3事業の損益悪化に加えて調整額の増加により減益

（単位：百万円）	2020年6月期 第3四半期累計	2021年6月期 第3四半期累計	増減額	増減率
売上高	7,885	8,119	+233	+3.0%
ネット型リユース事業	5,229	4,832	▲396	▲7.6%
メディア事業	429	420	▲9	▲2.1%
モバイル通信事業	2,430	2,949	+519	21.4%
セグメント内消去	▲203	▲82	—	—
セグメント利益	443	98	▲344	▲77.7%
ネット型リユース事業	532	412	▲120	▲22.5%
メディア事業	285	201	▲84	▲29.3%
モバイル通信事業	188	136	▲51	▲27.2%
調整額	▲563	▲652	▲90	—
セグメント利益率	5.6%	1.2%	▲4.4%	—
ネット型リユース事業	10.2%	8.5%	▲1.6%	—
メディア事業	66.6%	48.1%	▲18.5%	—
モバイル通信事業	7.7%	4.6%	▲3.1%	—

セグメント別業績概況（2021年6月期四半期別）

（単位：百万円）	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	2,870	2,758	2,491
ネット型リユース事業	1,665	1,690	1,476
メディア事業	169	134	115
モバイル通信事業	1,086	953	909
セグメント内消去	▲51	▲21	▲9
セグメント利益	163	42	▲107
ネット型リユース事業	228	123	61
メディア事業	95	61	44
モバイル通信事業	75	38	22
調整額	▲235	▲180	▲236
セグメント利益率	5.7%	1.5%	▲4.3%
ネット型リユース事業	13.7%	7.3%	4.1%
メディア事業	56.4%	45.4%	38.8%
モバイル通信事業	7.0%	4.0%	2.5%

連結貸借対照表

財務の健全性は維持

(単位：百万円)	2020年6月期末	2021年6月期3Q末	増減額	増減要因
流動資産	3,068	2,778	▲290	
現金及び預金	1,255	1,576	+321	主に前期4Qに発生した売掛金の回収による増加
売掛金	1,283	595	▲687	回収による減少
商品在庫	404	405	+1	
固定資産	954	952	▲2	
有形固定資産	358	371	+12	
無形固定資産	313	255	▲57	
投資その他資産	281	324	+43	
総資産	4,023	3,730	▲292	
買掛金	370	296	▲73	4Qに発生した仕入債務の代金支払いにより減少
借入金	1,324	1,259	▲65	
その他	702	486	▲216	
負債合計	2,397	2,043	▲354	
純資産	1,625	1,687	+62	利益剰余金の計上による増加

Agenda

- ① エグゼクティブサマリー
- ② 2021年6月期第3四半期連結決算概況
- ③ 2021年6月期の投資について**
- ④ セグメント別概況
- ⑤ 2021年6月期業績予想について

販管費について

広告宣伝の効率化を進める一方 人件費・システムなど将来に向けた投資を加速

(単位：百万円)	2020年6月期 第3四半期累計	2021年6月期 第3四半期累計	増減額	増減率
販売費・一般管理費合計	2,576	2,824	247	9.6%
広告宣伝費	459	390	▲69	-15.1%
人件費	870	1,116	246	28.3%
システム・インフラコスト※	346	434	87	25.4%
その他	902	884	▲17	-1.9%

※システム・インフラコスト：支払手数料、地代家賃、支払リース料

人員投資について

ネット型リユース、システム開発での人的投資を推進

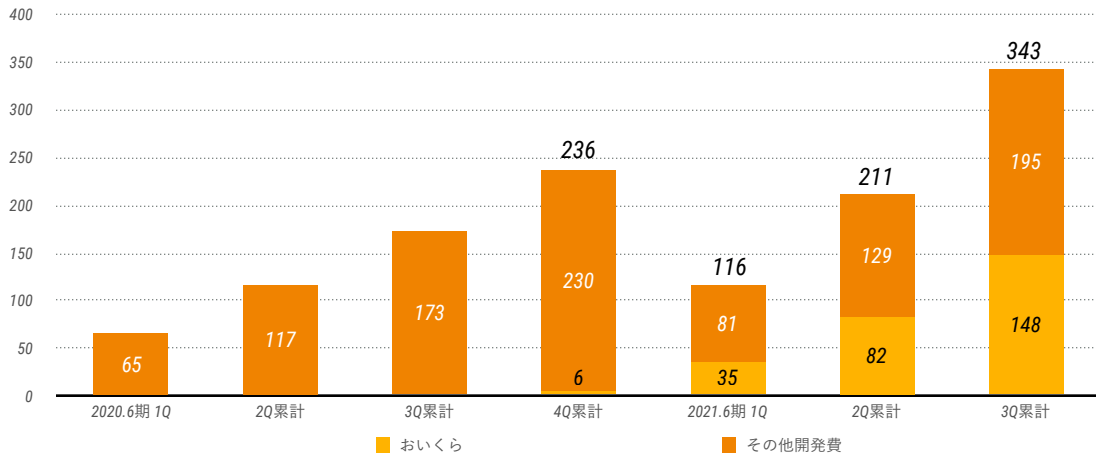
(単位：人)	2020年6月期 第3四半期累計	2021年6月期 第3四半期累計	増減
正社員数	164	242	+78
ネット型リユース	117	151	+34
個人向けリユース	109	121	+12
農機具	4	23	+19
おいくら	4	7	+3
メディア	11	19	+8
モバイル通信	4	5	+1
システム開発 (内VN※オフショア)	11 (0)	39 (25)	+28 (+25)
管理本部他	21	28	+7

※VN：ベトナム

開発投資について

ベトナムオフショア拠点の本格稼働により開発能力が増加

(単位：百万円)



※開発投資金額：国内エンジニア人件費+システムインフラコスト+ベトナム拠点販管費

Agenda

- ① エグゼクティブサマリー
- ② 2021年6月期第3四半期連結決算概況
- ③ 2021年6月期の投資について
- ④ **セグメント別概況**
- ⑤ 2021年6月期業績予想について

事業ポートフォリオ

ネット型リユース

個人向け



法人向け



ME TRADING



プラットフォーム



メディア

通信



プラットフォーム



リユース



趣味



モバイル通信



サービスブランド



ネット型リユース事業

個人向け



プラットフォーム

法人向け



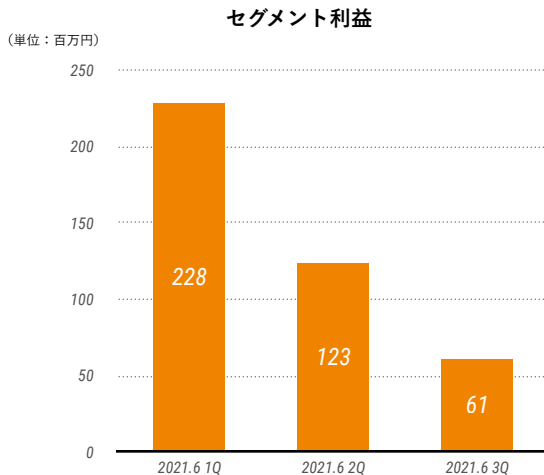
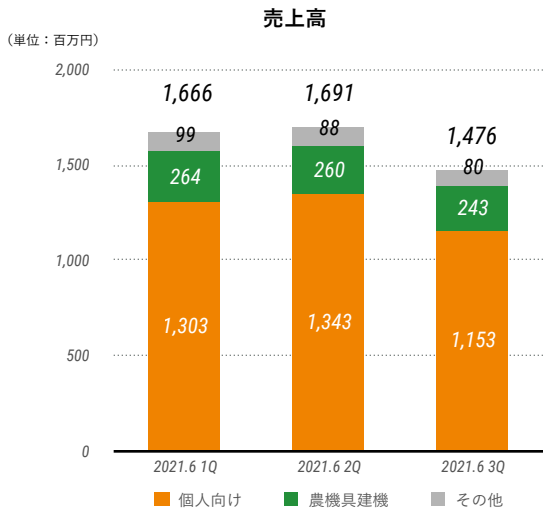
ME TRADING



おいくら?

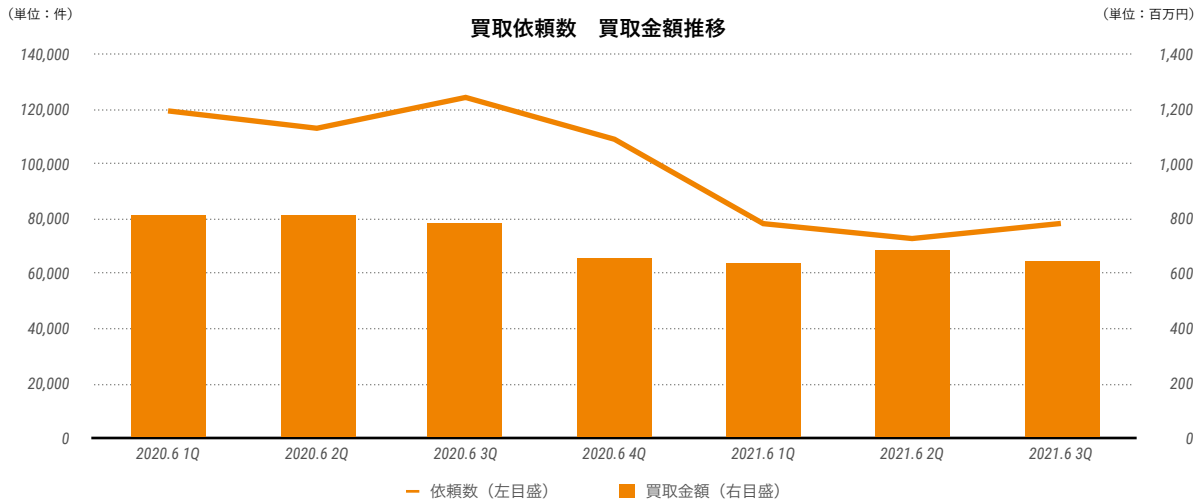
ネット型リユース事業 四半期別業績推移

広告調整と通常の季節性により前四半期比減収に加え投資加速により減益



ネット型リユース事業 四半期別個人向けリユース買取状況

広告運用の効率化の結果買取依頼数は減少したものの買取金額は堅調に推移

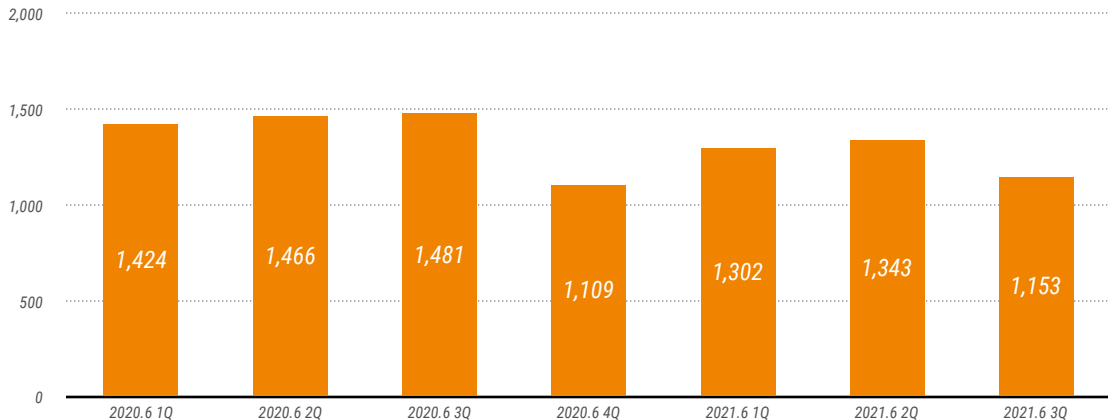


ネット型リユース事業 四半期別個人向けリユース販売

販売は安定的に推移

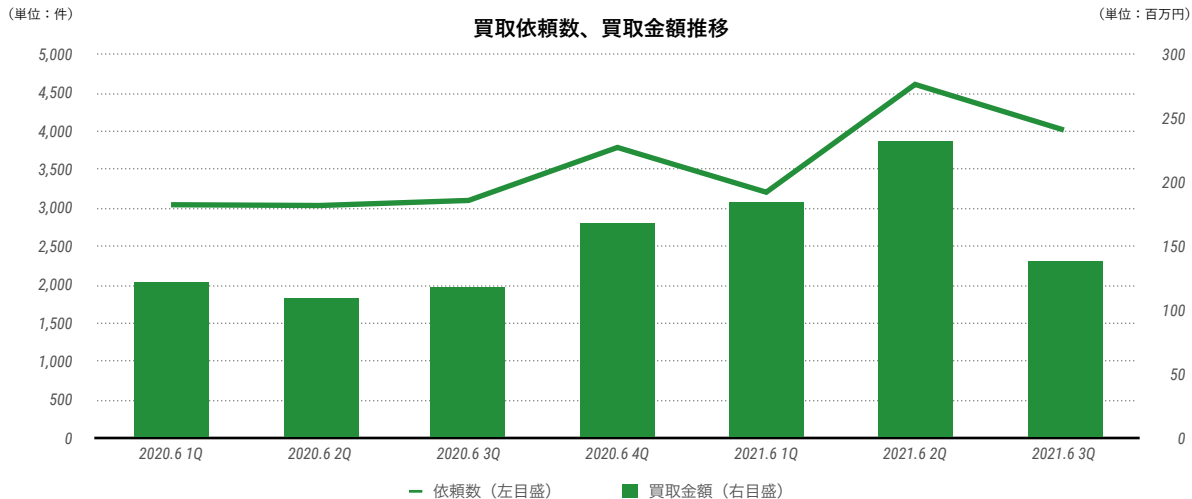
(単位：百万円)

販売金額



ネット型リユース事業 四半期別農機具建機買取状況

世界的なコンテナ需給ひっ迫を考慮して買取を一時的に抑制

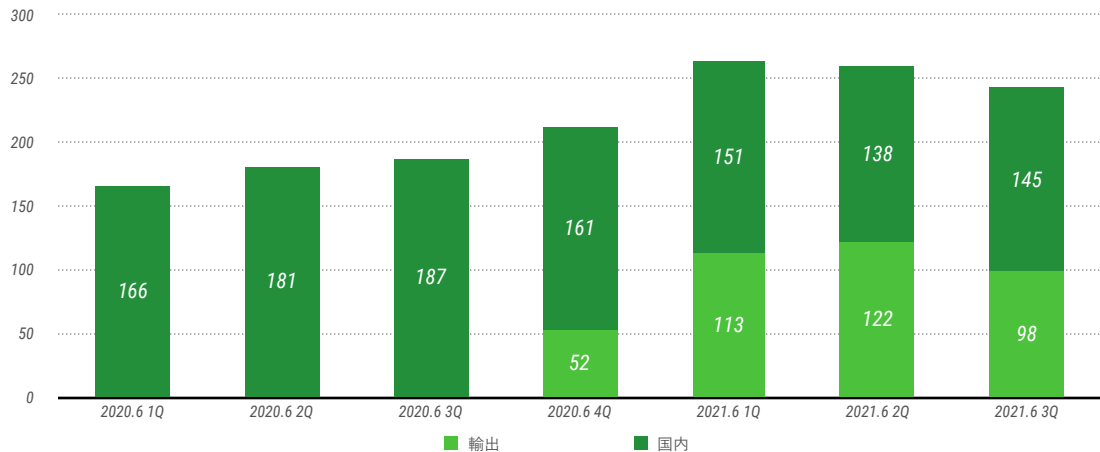


ネット型リユース事業 農機具建機販売

コンテナ需給ひっ迫により輸出は前四半期比減少も国内販売がカバー

(単位：百万円)

販売金額

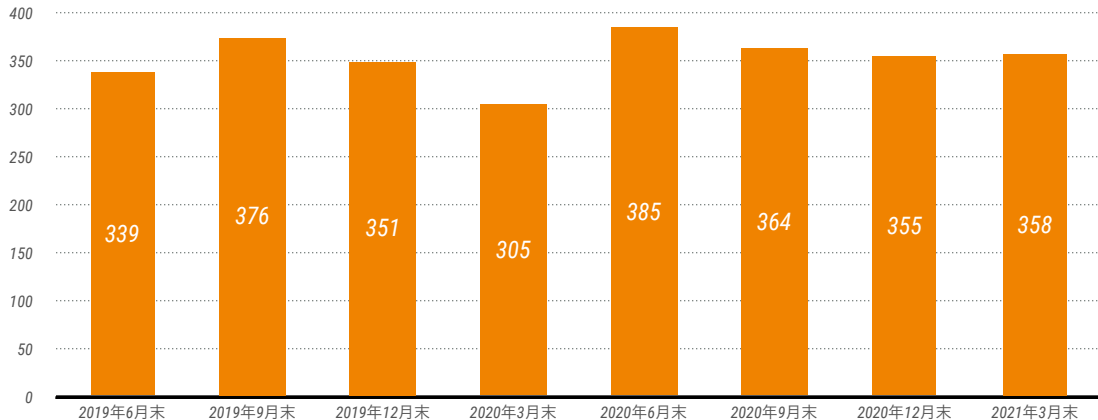


ネット型リユース事業 四半期別在庫推移

在庫は高水準を維持

(単位：百万円)

在庫金額

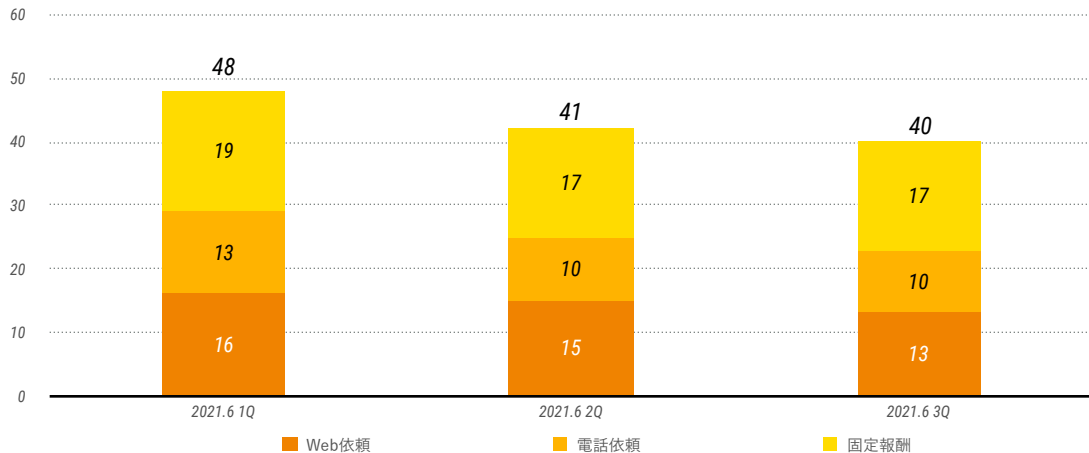


ネット型リユース事業 四半期別おいくら業績推移

売上は安定推移

売上高

(単位：百万円)



メディア事業

通信

iPhone
格安SIM 通信

SIM CHANGE
BEST PHONEBOOKS 4K2020

プラットフォーム

UMM
USED MACHINE MARKET

最安修理 

リユース

高く売れる
中古品
MAGAZINE

おいくら?
マガジン

趣味

ビギナズ

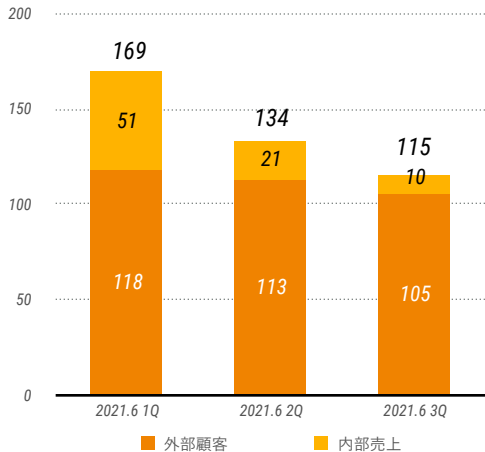

OUTLET JAPAN

メディア事業 業績概況

社内向け送客収入の減少により減収 社外向けは安定 人員増加による人件費増加により減益

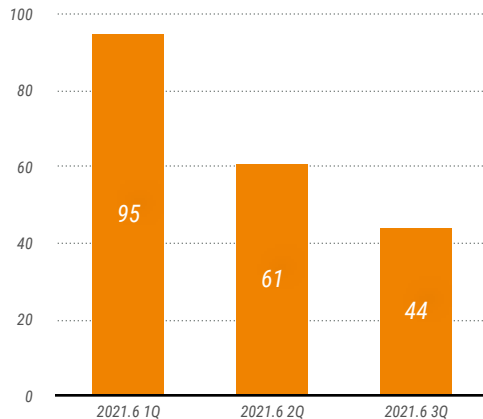
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



モバイル通信事業

NE MOBILE

サービスブランド

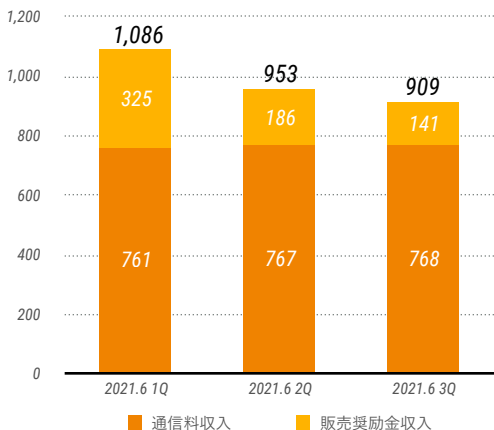
カシモ WiMAX
powered by UQ WiMAX

モバイル通信事業 業績概況

通信料収入は安定 新規獲得減による販売奨励金収入の減収により減益

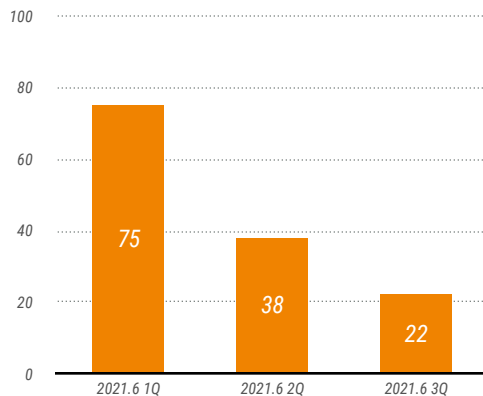
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



Agenda

- ① エグゼクティブサマリー
- ② 2021年6月期第3四半期連結決算概況
- ③ 2021年6月期の投資について
- ④ セグメント別概況
- ⑤ **2021年6月期業績予想について**

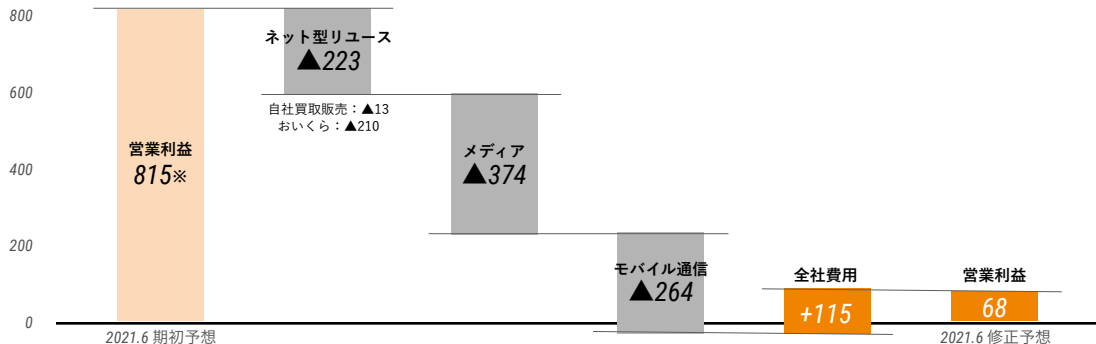
2021年6月期業績予想

業績予想を修正

(単位：百万円)	2020年6月期 実績	2021年6月期 期初予想	2021年6月期 修正予想	前期比	期初 予想比
売上高	10,904	13,500～14,500	10,910	+0.1%	▲19.2% ～▲24.7%
営業利益	655	730～900	68	▲89.6%	▲90.6% ～▲92.4%
経常利益	664	733～903	41	▲93.8%	▲94.4% ～▲95.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	291	360～450	▲40	—	—

連結営業利益予想のセグメント別修正内訳

(単位：百万円)
1,000



※期初営業利益予想730百万円～900百万円の中央値

業績修正の背景について

全体

成長分野への先行投資に加えてメディア及びモバイル通信の収益性の悪化を背景に業績予想を下方修正

ネット型リユース事業

- ・ 個人向け買取販売：効率的な広告運用を行ったことで低価格帯を中心に売上が予算比減少 一方平均単価及び生産性アップにより収益性は改善
- ・ 農機具：コンテナ需給ひっ迫を背景に輸出を中心に売上未達 人員投資及びシステム投資など先行投資増加によって利益減
- ・ おいくら：サービスメニュー見直しによる固定広告収入の減少により売上減少 マッチングロジックや査定機能拡充などシステム投資やマーケティングなど先行投資を実施により利益減少

メディア事業

- ・ 通信分野を中心に収益性の高いキーワードにおける検索順位が低位にとどまったことにより売上未達 事業体制強化のための人員拡充による人件費増加により利益減少

モバイル通信事業

- ・ 競争激化により新規回線獲得が予算未達成

4Qの状況に関して

全体

ネット型リユース事業を中心に回復基調で推移

ネット型リユース事業

- ・ 個人向け買取販売：緊急事態宣言再発令の影響が不透明も買取販売とも3Q比で増加
- ・ 農機具：世界的なコンテナ需給ひっ迫の影響が継続も国内を中心に販売は堅調
- ・ おいくら：Web依頼は1月を底に回復傾向 開発体制を刷新し中期戦略に向けた準備に着手

メディア事業・モバイル通信事業

- ・ 3Q比ほぼ横ばいで推移

来期以降の戦略に関して

現在「中期経営計画」を策定中(発表予定:2021年8月の本決算説明会時)であり
その際改めて各事業の成長戦略を説明させていただきます

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は
将来の見通し計画のもととなる前提予測を含んで記載しております
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

マーケットエンタープライズ・IR

ir@marketenterprise.co.jp

持続可能な社会を実現する最適化商社

